



# K.G.H. REVIEW

## 院長メッセージ

### より良い社会の創造を目指して

関西学院 院長 舟木 讓



また同窓の方々をはじめ関西学院に連なるすべての人びとがこの精神のもとで、社会と世界にさまざまな形で存在する必要な壁や垣根を取り除くための働きを続けていただきたいということでした。

二〇二〇年は、ベーツ先生を日本に派遣したカナダ・メソヂスト教会が関西学院の経営に参画して百十年、ベーツ先生の院長就任百年となる年でした。そうした節目を迎えましたが、高等部の卒業式を無事に終えた翌週から新型コロナウイルスウィルス感染症の拡大により、式典・行事・授業等に大きな影響が及び、今も続く

試練の中での歩みが始まってしまいました。しかし、高等部で学ぶ生徒の皆さんは保護者の皆様のご理解とご協力により、教職員と共に、今「できること」「なすべきこと」を主体的に模索しながら、新たな日常の創造に向けて努力を続けています。

関西学院は、カナダ・メソヂスト教会の協力による新たな歴史が始まったのち、順調な歩みが続き、大学昇格を果たしました。その後、太平洋戦争開戦前年となる一九四〇年、ベーツ先生は院長と学長の職を辞され、本国カナダへの帰国を余儀なくされ

ます。世界全体が戦争という大きな不安と悲しみに向かう状況は、現在コロナ禍にある世界と同じような時であったと想像できます。関西学院を去られるにあたりベーツ先生は、「Keep this holy fire burning」という言葉を託されました。

高等部は中学部とともに普通学部から続く伝統を三十一年の長きにわたって紡ぐ中、太平洋戦争、大学紛争の影響、阪神淡路大震災などの危機的な状況をこれまでも経験して今にいたっています。そのような状況の中でも創立当初からのキリスト教を

## クリスマスマズル

十二月十四日、十五日の二日間を通して行われたクリスマスマズル。今年も新型コロナウイルスの猛威により、学年ごとの礼拝が余儀なくされ、またクリスマスマズルの聖歌は歌うことができなかった。だが、ピアニストの堤聡子さん・チェリストの中島紗理さんのご奉仕で素敵なクリスマスマズルの特別さんびに耳を傾けることができました。礼拝堂に響くチェロとピアノの奏でる音色は、とても

## クリスマスマズル

想の一部を記し、報告とします。(宗教主事 松隈 協)

「自分は異常だ。おかしい。中学生で藤井先生が言われたこの言葉に多様性が認められず不合理な社会であることを実感した。社会には様々な性の人があり、どの性が正しいとも優れているとも決まっているわけではなく、むしろ違いこそが人間の価値であると思う。しかし、私たちは社会的マイノリティーにある人に対し、無意識に差別

二〇一九年は、原田の森から上ヶ原キャンパスに移転して九十年を迎えた年であったことから、移転に向けて尽力されたC.J.L.ベーツ院長が新しいキャンパスを評して語られた「We have no fence」という言葉を、高等部をはじめさまざまな場所で語ってまいりました。その際、繰り返しお伝えしたのは、関西学院で学び、働く人びと

## ダンス部 全国大会出場

我々ダンス部は、三十九名で年々部員が増え和気藹々と活動しています。今回全国大会出場が決定した全国高等学校ダンスドリル大会は、三年生が引退されてから、一、二年生で構成された新チーム初めての大会でした。先輩方が引退され、練習や大会作品の制作過程でたくさん大きな壁が立ちました。しかし、一

## アメリカンフットボール部 クリスマスマズル出場

二〇二〇年度はコロナウィルスの影響により三月から部活動が出来ず、春大会も中止になりました。ですがその間も各自で筋トレや体重管理をしっかりと行い、秋の大会に備えていました。主将を中心にチーム力を高め、関西地区大会にて優勝を果たし、四年ぶりにクリスマスマズルに

## ラグビー部 花園出場

二〇二〇年度ラグビー部は新人戦兼近畿大会兵庫県予選で優勝し、近畿大会に出場しましたが、二回戦で敗れ第五代表決定戦に挑みましたが、一点差で敗れ選抜大会出場とはなりません。緊急事態宣言によってラグビーが出来ない期間も様々なことに取り組みました。活動が再開され例年通りにはいかないことも多くありましたが、沢山の

## スピードスケート 国体出場

兵庫県代表選手団の一員として、多くの精鋭がエントリーしている国体に、緊張感をもち臨みました。一〇〇〇mにおいては、大学生との練習で鍛えた「レース展開を読む力」を活かし、準々決勝で格上の選手を破り準決勝に進出し、七位に入賞することができました。結果、県代表として貢献できたことに安堵しています。しかし、五〇〇mにおいては技術力の差で負けてしまい、悔しい思いをいたしました。今回見た課題をもとにもっと練習を重ね、来年も国体に出場し、三位以内に入賞できるように頑張りたいと思います。今後とも応援よろしくお願いします。

## 困難を乗り越えた先に

一人一人が試行錯誤を重ねて困難を乗り越え、納得のいく作品を作り上げると共に仲間との絆もより深まりました。この社会情勢のため練習時間の削減など様々な制限がある中でありましたが、妥協することなく、オンラインを活用したり練習を工夫してさまざまな形で部活動向き合ってきました。そして、オンライン審査が増えてきている現在、観客の方々のいる舞台上で踊ることができる大切さを改めて

## 感謝

見た時はショックのあまり頭が真っ白になって、涙すら出ませんでした。応援してくれた家族、友達、先生方、そして何よりも指導してくださった三宅先生には申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。最後の一年は全国大会でも通用する実力をつけて笑って終われるように、これからも頑張りたいと思います。

## 第六十九回 チャーチル杯争奪 全国高等学校生 英語弁論大会 本戦出場

今年も西日本二位という高い順位で本戦に進むことが決まりました。昨年本戦で入賞できなかったこともあり、今年には必ず入賞したいという一心で練習を重ねましたが、またも全国での入賞を逃してしまいました。結果発表動画を

## 図書館を使った調べる学習コンクール 優秀賞 受賞

私は、第二十四回図書館を使った調べる学習コンクールに卒業論文「文豪たちの名作

## ふりりん

この一年、日本中の学校を「コロナ禍」が襲った。高等部も、この間いろいろ悩まされた。失われたものの筆頭は、もちろん授業である。二期期になつて平常の対面授業が復活して、我々教師はそのありがたみをつくづく知った。もう一つ失われたものがあ

は、スキー旅行や泊日Rももちろん含まれる。今年の多くは、七月の九州南部豪雨災害により被害を受けた地域に送るの三年生は一番大切な引退試合が失われてしまった。

そのことが今年の高校生に「取り返しのつかなさ」をもたらした。三年生の引退試合は二度とできない。それは先輩の引退を涙で見送る下級生祝うことでも良かった。

クリスマス礼拝の場を与えてくださった先生方や進行してくださった宗教部の方々など全ての人が感謝したい。ありがとうが伝わりました。(礼拝委員長 田中 瞳子)

古来日本ではそのような通過儀礼は村落や共同体が担っていた。だが今は学校がそれを担っている。それが今年、抜け落ちてしまった。

そう考えたとき、今年の三年生があれほどまでに文化祭やスポーツ大会やアッセンブリーの開催にこだわったのか、受け継がれていくのか、を応答し、優秀賞・活字文化推進会議賞を受賞しました。本論文では、芥川龍之介と太宰治という私を文学に目覚めさせた二人の文豪の作風と宗教観を辿り、書籍の電子化という

一大変革を越えて作品がどう読み継がれるか、遺志がどう叶えられるかを調べました。自分の好きなことに対して真摯に向き合い、結果としてこのように評価していただくことを嬉しく思っています。しかし我々高等部の教師は、それが間違いであるとして、今年身に染みて実感した。一・二年生諸君。来年も期待しています。

今年も西日本二位という高い順位で本戦に進むことが決まりました。昨年本戦で入賞できなかったこともあり、今年には必ず入賞したいという一心で練習を重ねましたが、またも全国での入賞を逃してしまいました。結果発表動画を

今年も西日本二位という高い順位で本戦に進むことが決まりました。昨年本戦で入賞できなかったこともあり、今年には必ず入賞したいという一心で練習を重ねましたが、またも全国での入賞を逃してしまいました。結果発表動画を

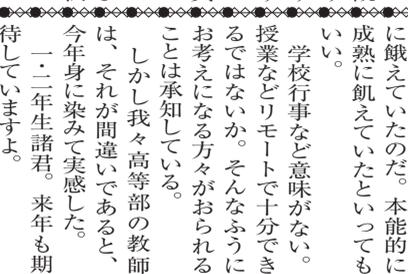
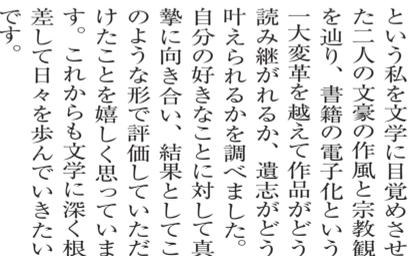
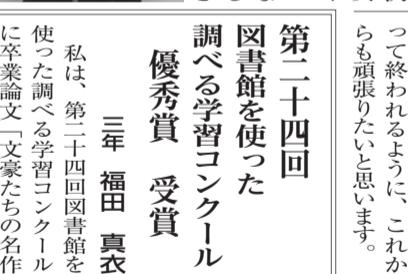
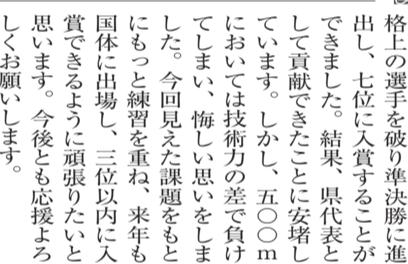
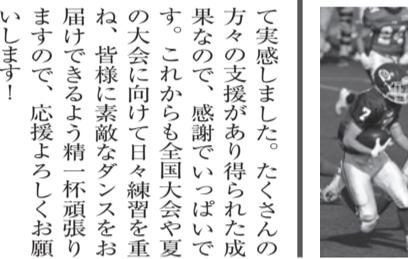
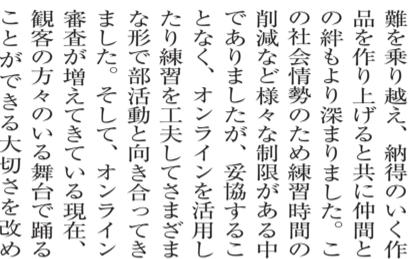
今年も西日本二位という高い順位で本戦に進むことが決まりました。昨年本戦で入賞できなかったこともあり、今年には必ず入賞したいという一心で練習を重ねましたが、またも全国での入賞を逃してしまいました。結果発表動画を

今年も西日本二位という高い順位で本戦に進むことが決まりました。昨年本戦で入賞できなかったこともあり、今年には必ず入賞したいという一心で練習を重ねましたが、またも全国での入賞を逃してしまいました。結果発表動画を

今年も西日本二位という高い順位で本戦に進むことが決まりました。昨年本戦で入賞できなかったこともあり、今年には必ず入賞したいという一心で練習を重ねましたが、またも全国での入賞を逃してしまいました。結果発表動画を

今年も西日本二位という高い順位で本戦に進むことが決まりました。昨年本戦で入賞できなかったこともあり、今年には必ず入賞したいという一心で練習を重ねましたが、またも全国での入賞を逃してしまいました。結果発表動画を

今年も西日本二位という高い順位で本戦に進むことが決まりました。昨年本戦で入賞できなかったこともあり、今年には必ず入賞したいという一心で練習を重ねましたが、またも全国での入賞を逃してしまいました。結果発表動画を



新型コロナウイルスによる高等部への影響と経過

Table with 2 columns: Date (e.g., 2020.1, 2020.2) and Event/News (e.g., 中国武漢で原因不明の肺炎流行の報道, 乗客の感染が確認されたクルーズ船).

コロナ禍の高等部

部長 枝川 豊

二〇二〇年度はスキー旅行など多くの行事が中止、縮小となり、礼拝堂に全校生徒が集うことができず、全校礼拝・学友会アセンブリーは放送での実施でした。校歌『空の翼』や讃美歌を歌うことも、入学式・卒業式に保護者の方に列席していただくこともできませんでした。

コロナ禍における授業

教務主任 三木 真也

新型コロナウイルスの実感がまだない二〇二〇年二月末、突然の休校措置が発表され、そのま

行政書士試験合格

三年H組 秋吉 美帆



アッセンブリーで表彰していただいたのですが、嬉しいやら恥ずかしいやらで何を話したかよく覚えておらず……

新会長 挨拶

二年A組 田中 勇斗



二〇二一年度、学友会会長に就任しました田中勇斗です。今年度は昨年からコロナウイルスの影響が続きますが、この学校をより良いものにして行きたいと思っております。

新副会長 挨拶

二年H組 関 碧生



二〇二一年度学友会副会長、関碧生です。私たち学友会は生徒とのコミュニケーションを大切に、日々活動しています。

新任の先生方の挨拶

広岡 直太



大きな期待を胸に名古屋から高等部へ。ところが緊急事態宣言下での勤務スタート。教職員・生徒・保護者の方々と共に、手探りの中で「そろりそろり」と歩む一年となりました。

浅井 信雄



大学受験で初めて訪れたと、時計台と中央芝生の美しさに魅了されたのが関西学院との出会いでした。高校の教師を志望し、文学部及び大学院で日本古代史を学び、卒業後は大阪市の高校で教えていました。

小説部門優秀賞

二年 石井 萌花



私の昨年の夏は色々な意味で厳しいものでした。そんな中、一筋の光を求めるように、ノンフィクション寄りのフィクションを書き上げる事が大きな救いとなりました。

社会の不自由さを感じ、何もできずただ指を咥えて見ていた人も多しはす。しかし、今こそ「自由と自治」を体現する時です。自由を手に入れるために自ら行動し、仲間と協力して物事を動かすことが高等部生にはできるはず。私たちは YouTube ライブを使い、アッセンブリーを開催しました。せめて一学年だけでも、雰囲気や距離感を感じて欲しいという思いからです。少しでも感染拡大前の生活に戻れるように、またそれ以上に良い学校生活を送るために私たちは「自由と自治」を体現します。そして、今だからこそ独創性あふれる未来を作り上げていきましょう。



◆◆◆ 運動部 ◆◆◆

◆ 剣道部

昨年二月、男子が第一回近畿私学高校剣道大会で優勝、関学大招待試合でもベスト八に入り、また女子も和工杯などでよい成績を上げました。その後、総体が中止になり大変残念でした。秋に新チームに移行し、九月阪神新人大会では、男女とも優勝、個人は優勝、江本、二位、押田三位、小西、女子は三位、木

◆ 水泳部

全国高校通信大会出場 田中一路 二〇〇〇個人メドレー 四〇〇〇個人メドレー 田中駿真 五〇〇自由形 川本悠乃 二〇〇〇平泳ぎ 四〇〇〇個人メドレー 橋本夏菜恵 一〇〇〇自由形

◆ テニス部

こんにちは。テニス部です。我々テニス部は、男子二十五人女子九人で共に精進しています。その中で、私たちは上手くなることだけでなく、人としての成長に比重を置いています。礼儀、挨拶、態度などをテニス、そして部活動を通して学んでいます。

◆ バレーボール部

我々女子バレーボール部は八月に行われた全日本バレーボール高等学校選手権大会阪神予選で二勝し、県大会に出場しました。一年生は人数が少なく初心者もいる中で、今度のリーグ戦では三部から二部への昇格を目標に日々練習に励んでいます。

◆ サッカー部

感謝の反対は当たり前 我々サッカー部は、今年度のチーム目標として「全国大会での勝利」を掲げました。しかし、選手権(ベスト十六)、県リーグ(六位)、阪神リーグ(七位)と満足いく結果を残すことができませんでした。今年度の悔しい一年間でした。今年度の三年生は、困難の中でも常に



近畿私学大会 優勝

◆ 野球部

甲子園に向けて 僕たち野球部は兵庫県秋季大会におきまして、地区予選は一位で突破し、その後県大会では一回戦豊岡総合高校に乱打戦の末、十三対七で勝ち、二回戦村野工業高校と接戦の末、七対八で惜しくも負けてしまいました。この秋の

◆ 卓球部

新人戦阪神大会九月二十一日、二十二日および県大会十一月十三、十四日 男子単二回戦進出 岡崎、佐藤、宮脇、三回戦進出 吉田、四回戦進出 山本、尾林、ベスト四入り 海澤(県大会に出場し二回戦進出) 男子団ベスト八で県大会に出場一回戦三〇津名 二回戦三〇兵庫 三回戦〇三

◆ 陸上競技部

我々陸上競技部は四十七人で活動しています。今年度の大会はコロナウィルスの影響により、数少ない大会となり練習の成果を十分に発揮することができず、悔いの残るシーズンとなってしまいました。しかし現在は気持ちを前向きに持ち、目標を少しずつ達成できるように部員一同、

◆ ゴルフ部

一年 川崎日向汰 兵庫県ジュニアゴルフ選手権 三位 全国高等学校ゴルフ選手権 競技兵庫県予選 通過 全国高等学校ゴルフ選手権 競技関西決勝 通過 全国高等学校ゴルフ選手権 競技出場決定 (藤原 尊)

◆ サービスリーダーズ

私達の活動は、アメリカカンファレンス部の県秋季大会から始まり、コロナ禍で練習や試合に多くの制限があった中、アメリカカンファレンス部の健闘により、夢の舞台であったクリスマスマスボールの応援をさせて頂けたことは、私達にとって大きな喜びでした。今年度は指導部の力強い指揮も加わり、試合応援、文化祭ステージ、壮行会では今まで以上に活気ある応援が出来ました。残念ながら

◆ 文化部

ESS部 本年度は新型コロナウィルスの影響もあり、毎年出場させて頂いている阪神ESSユニオンナリオリーディングコンテストに代わって英語演劇映画コンテストに出場いたしました。部員十一名で制作から出演まで制作に励み、見事、Great Video Awardを受賞(総合二位)することができました。

◆ グリーククラブ

繋がるありがたさ 私たちグリーククラブは二十七名の部員で学生指導者を中心に活動してきました。このコロナ禍で上手くいかないことも多くありました。しかし、顧問の先生方をはじめとする多くの方に支えられ、最後には定期演奏会(ファミリアコンサート)も成功させることができました。合唱活動では、声を合わせ、顔を合わせ、離れていても繋がれることを改めて教えてもらいました。これからは、二年生がグリーククラブを率い、合奏をより多くの人と共に楽しむことができるよう願っています。

◆ 宗教部

コロナの制限があったものの今年も様々な活動を行うことができました。毎年応募している聖書動画コンテストの題材として今年もサーカスを選び、実際にサーカス小屋などを見学するための研修旅行を飯塚で行いました。現在もアニメーションの映像とトップモーション動画を並行して制作しています。他にも『夜と霧』や『罪と罰』についての読書会やクリスマス礼拝をはじめ宗教行事の司会、聖書朗読などを行いました。(宗教総部長 村岡 雅大)

◆ 美術部

我々美術部は今年度の文化祭における作品展示のために、個人制作や展示教室の準備に取り組みしました。制限のある中でしたが、より良い展示にする為に話し合いを繰り返しながら展示準備を進めたことで、当日はたくさんの方の先生方や生徒の皆様にご来場頂くことができました。新型コロナウィルスの影響により一月に予定されていた第六十回私学連合美術展が中止となり、準備をしてきただけに残念でしたが部員全員で協力して共同制作に取り組み、それぞれが納得のいく作品制作ができて良かったです。(部長 中村 萌)

◆ 数理科学部

国際学会iCONOMES SSH 2.0において、二組が発表しました。また、そこで発表した研究はScopusに登録された学会記念論文に採択されました。Scopusに登録されているということは信頼できる学術出版物という保証を得ていることになります。(部長 村上 聡)

◆ 社会部

茶道部茶道班 茶道班はコロナの影響を大きく受けました。茶道の醍醐味である抹茶を点てて飲むというところが禁止されてしまったからです。文化祭も茶会が中止となりました。(部長 三田 菜々々)

◆ 吹奏楽部

感謝を忘れずに 私たちは「高山流吹」をスローガンに、二年生十七名、一年生十六名の計三十三名で活動しています。昨年開催予定だった第十九回定期演奏会やコンクールは新型コロナウィルスの影響により中止となりましたが、十二月に行われた兵庫県アンサンブルコンテスト西大阪地区大会で、木管五重奏が金賞受賞、県大会に出場しました。四月二十四日には第二十四回定期演奏会開催を予定しています。私たちは皆さんに演奏を聴いていただき、皆さんの感謝を忘れず活動します。これからも応援よろしくお願いします。(部長 西田 七菜)

◆ 写真部

活動報告と今後の展望 今年度は三年生十八人、二年生一人、一年生八人で活動しました。主な活動はコンテストへの出品、文化祭での作品展示や育友会への写真提供などでした。春季写真コンテスト阪神地区予選では二名が入選、二年梶浦が県本選で努力賞、県総文阪神地区予選では六名が入選、県本選では一名が佳作、二年梶浦が特選、来年度全国総文へ推薦となりました。様々な制限があ

開き、コロナが明け大会がまた開かれる日に向けて練習を重ねました。十一月に全国高等学校クイズ大会に二チームでオンライン出場し兵庫県では二位となりました。部活が思うようにできなかった一年間でしたが顧問の東浦先生の助けもあり悔いなく部活ができました。本当にありがとうございました。(部長 岸田 誠馬)

◆ 理科部

活動報告と今後の目標 理科部は今年、ブライニクと呼ばれる自然現象を再現する研究を行い、その研究内容を兵庫県高等学校総合文化祭自然科学部門にてポスター発表しました。コロナの影響もあり、現在も部員数は一人、高等部文化祭での展示も行えませんでした。来年こそは今年度の研究を生かして、訪れた人に楽しんでもらえるような実験を披露したいと考えています。(部長 伊藤 暁)

◆ コンピュータ部

活動報告と今後の展望 本年は二十一名の一年生が入部しました。夏休みに技術講習会を実施し、プログラムや映像技術等を習得しました。文化祭では映像部門優秀映像賞を受賞し、第四十四回兵庫県高等学校総合文化祭文化部合同発表会にも参加、本校からも

「青少年のための科学の祭典2020」おもしろ科学まつりにおいて、数理科学部の動画が金賞を受けました。企業、大学、小学校、中学校、高校の五十のチームが参加しましたが、金賞は上位五つのチームでした。コーチの柏木麻理子さんが部員を主導して成果を出しました。(部長 村上 聡)



写真部 今年度は三年生十八人、二年生一人、一年生八人で活動しました。主な活動はコンテストへの出品、文化祭での作品展示や育友会への写真提供などでした。春季写真コンテスト阪神地区予選では二名が入選、二年梶浦が県本選で努力賞、県総文阪神地区予選では六名が入選、県本選では一名が佳作、二年梶浦が特選、来年度全国総文へ推薦となりました。様々な制限があ